

## はじめに

まちびらきから40年が経過した千里ニュータウンは、交通の利便性に優れた立地条件にある中で、緑豊かなゆとりある空間を有する成熟したまちへと変貌を遂げてきました。しかし、時の流れとともに、住民の少子・高齢化、建物の老朽化、近隣センターの衰退など様々な課題を抱えており、21世紀における新たなニュータウンのあり方を問い直す機会に直面しています。

平成14年(2002年)3月30日、学識経験者4名、千里ニュータウンの再生を考える市民100人委員会委員10名の計14名により発足した「千里ニュータウン再生ビジョン策定委員会」では、約1年間に渡り、千里ニュータウンが抱える諸課題を整理するとともに、まちの再生に向けた今後のあり方について活発な議論を進めてまいりました。

平成14年(2002年)12月25日には、千里ニュータウンの再生を考える市民100人委員会報告書「市民が考え・発信する千里ニュータウンの再生ビジョン 生活者の視点から」が取りまとめられましたが、本委員会では市民が自らの意見を集約したこの報告書の内容も踏まえながら、これからの千里ニュータウンのあり方についての提言を「千里ニュータウン再生ビジョン案」として取りまとめました。

今後、吹田市が各種施策を進めるにあたり、このビジョン案を十分踏まえながら、千里ニュータウンの再生に向けて取り組まれることを委員一同切に望むものです。

平成15年(2003年)3月28日